

第6回 NRC全国キャラクター調査

【Part1:ご当地キャラクター編】

2019年10月調査結果



株式会社日本リサーチセンター

東京都墨田区江東橋4-26-5 URL: <https://www.nrc.co.jp/>

日本では、マンガやアニメなどに登場するキャラクター人気が高く、キャラクターを商品化したビジネスも盛況ですが、キャラクター市場の実態として、どのようなキャラクターが認知され、好感をもたれているのでしょうか。

上記の問題意識より、弊社の自主調査企画として、「NRC全国キャラクター調査」を時系列（毎年1回）で実施してまいりました。2014年から始めまして、2019年の今回調査は第6回となります。（注1）

本調査は、日本全国の15～79歳男女を対象に、訪問留置法（NOS:日本リサーチセンターオムニバス調査）を利用しています。

アンケート登録パネルを使ってインターネットで簡単に情報収集できる時代になりましたが、NOSでは50年にわたって、「調査員を使った訪問留置」、「パネルモニターではない毎回抽出方式」で調査を継続しており、代表性のある信頼の高いデータを提供してきました。また、エリア・都市規模と性年代は、日本の人口構成に合致するように割り付けておりますので、全体の比率は、年代等の偏りがない結果としてご覧になることができます。

NRCLレポートでは、Part1～Part5に分けて、
「ご当地キャラクター(18)・企業キャラクター(13)」、「マンガ・アニメキャラクター(21)・ゲームキャラクター(5)」、「日本(10)・海外(16)の有名キャラクター」の3つのジャンルごとに質問した、合計83種のキャラクターの認知度と好感度を紹介していきますが、本レポートは「Part1:ご当地キャラクター編」の結果です。

（注1）キャラクターは名前だけの提示で、画像提示は行っておりません。

<ランキング>

- ・ご当地キャラクター18種の中では、「くまモン」が認知度、好感度ともに1位で、「ふなっしー」は2位。
- ・「くまモン」は、全キャラクター内好感度ランキングでも、2016年から毎年1位をキープ。
- ・「ふなっしー」は、全キャラクター内好感度ランキングが、2016年は2位だったが、2019年は10位に低下。

<2019年認知度>

- ・「くまモン」と「ふなっしー」は、認知度が9割前後と高い。次いで「せんとくん」70%、「ひこにゃん」66%が続き、全国・全世代(全体)レベルで5割を超えているのは、これら4キャラクターのみ。
- ・ご当地キャラの名前の由来通り、「ひこにゃん」と「せんとくん」は、近畿で80%、76%、また、「メロン熊」は50%、「ぐんまちゃん」は53%と、それぞれのご当地エリアで認知度がアップしている。

<2019年好感度>

- ・好感度が10%を超えるのは、「くまモン」、「ふなっしー」、「ひこにゃん」の3キャラクターのみ。
- ・「くまモン」(33%)と「ふなっしー」(24%)は9ポイント差。「ふなっしー」と「ひこにゃん」は11ポイント差と、上位3キャラクター内でもスコア差がある。
- ・認知度が70%と高かった「せんとくん」は、好感度では5%と低め。

<時系列変化>

認知度では、

- ・「くまモン」は2014年から2019年まで、いずれも9割以上と安定。
- ・「ちっちゃいおっさん」は、2014年46%→2019年26%と、この6年間で20ポイント低下。
- ・「せんとくん」は、2014年74%→2017年64%と低下していたが、2019年は増加して70%になった。




好感度では、

- ・「くまモン」は、2014年31%→2016年38%と増加していたが、2019年では33%と低下傾向がみられる。
- ・「ふなっしー」は、2014年、2015年は「くまモン」より好感度が高かったが、2016年からは「くまモン」に抜かれて第2位で推移。2014年38%→2019年24%と、この6年間で14ポイント減少している。







ランキング結果

- ご当地キャラクター18種の中では、「くまモン」が認知度、好感度ともに1位で、「ふなっしー」は2位。
- 「くまモン」は、全キャラクター内ランキングでも、好感度は2016年から毎年1位をキープ。
- 「ふなっしー」は、全キャラ内で好感度が、2016年2位→2017年5位→2018年8位→2019年10位と低下。
- 「ひこにゃん」は、ご当地キャラ内の認知度は4位だが、好感度は3位。一方、「せんとくん」は、認知度は3位だが、好感度は4位で、「ひこにゃん」に比べて認知は上回るが、好感度は低い。

認知度

	2019年	ご当地キャラ 18内ランキング	全キャラクター内ランキング		
			2019年 83キャラ	2018年 89キャラ	2017年 90キャラ
くまモン	91%		8位	11位	9位
ふなっしー	88%		17位	16位	12位
せんとくん	70%		44位	47位	44位
ひこにゃん	66%	4位	51位	51位	45位
ぐんまちゃん	36%	5位	68位	68位	68位
メロン熊	28%	6位	69位	69位	72位
ちっちゃいおっさん	26%	7位	71位	70位	70位

好感度

	2019年	ご当地キャラ 18内ランキング	全キャラクター内ランキング		
			2019年 83キャラ	2018年 89キャラ	2017年 90キャラ
くまモン	33%				
ふなっしー	24%		10位	8位	5位
ひこにゃん	13%		29位	31位	23位
せんとくん	5%	4位	62位	65位	66位
ぐんまちゃん	5%	5位	64位	59位	52位
ちっちゃいおっさん	4%	6位	68位	67位	67位
みきゃん	3%	7位	71位	68位	74位

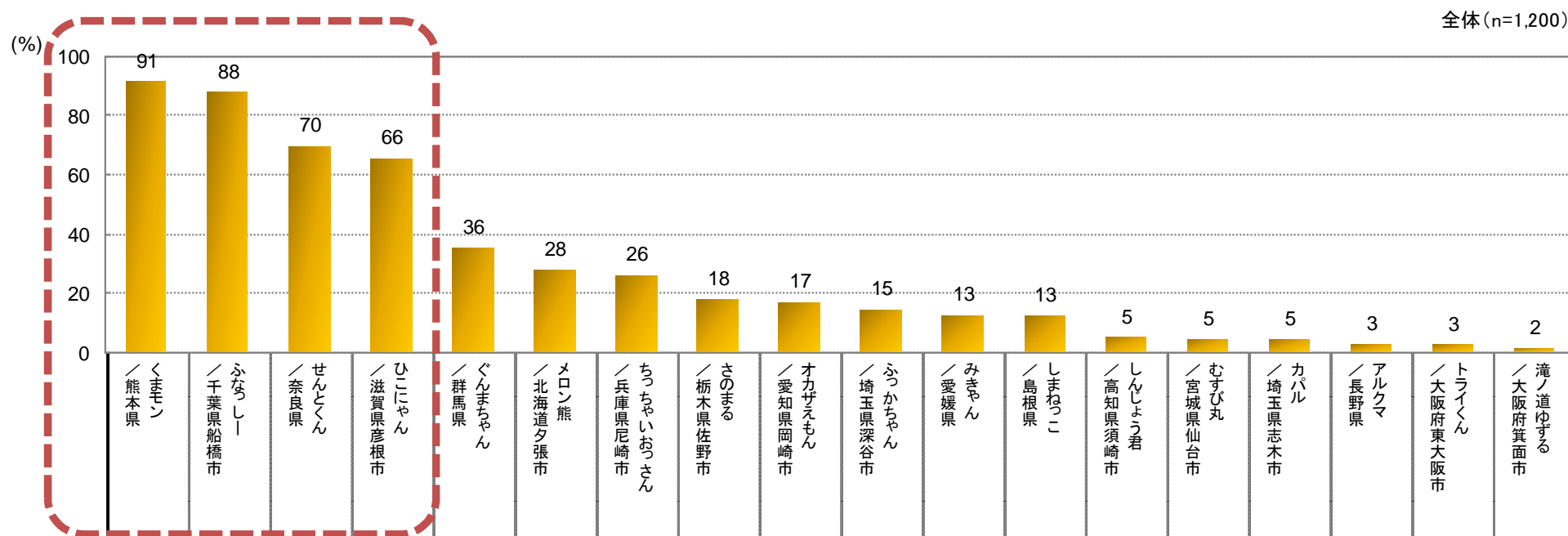
調査結果の詳細

ご当地キャラクター18種の中で認知度をみると、

- 「くまモン」と「ふなっしー」は、9割前後と群を抜いて高い。
- 次に、「せんとくん」70%と、「ひこにゃん」66%が続き、全国・全世代(全体)レベルで5割を超えているのは、これら4キャラクターのみ。
- その次のグループとして、「ぐんまちゃん」36%、「メロン熊」28%、「ちっちゃいおっさん」26%が2～3割台で続く。

認知度

問. 次の「ご当地キャラ」のうち、あなたがご存知のものはどれですか。知っているものをすべてお知らせください。(〇はいくつでも)
(多いもの順に並べ替え)



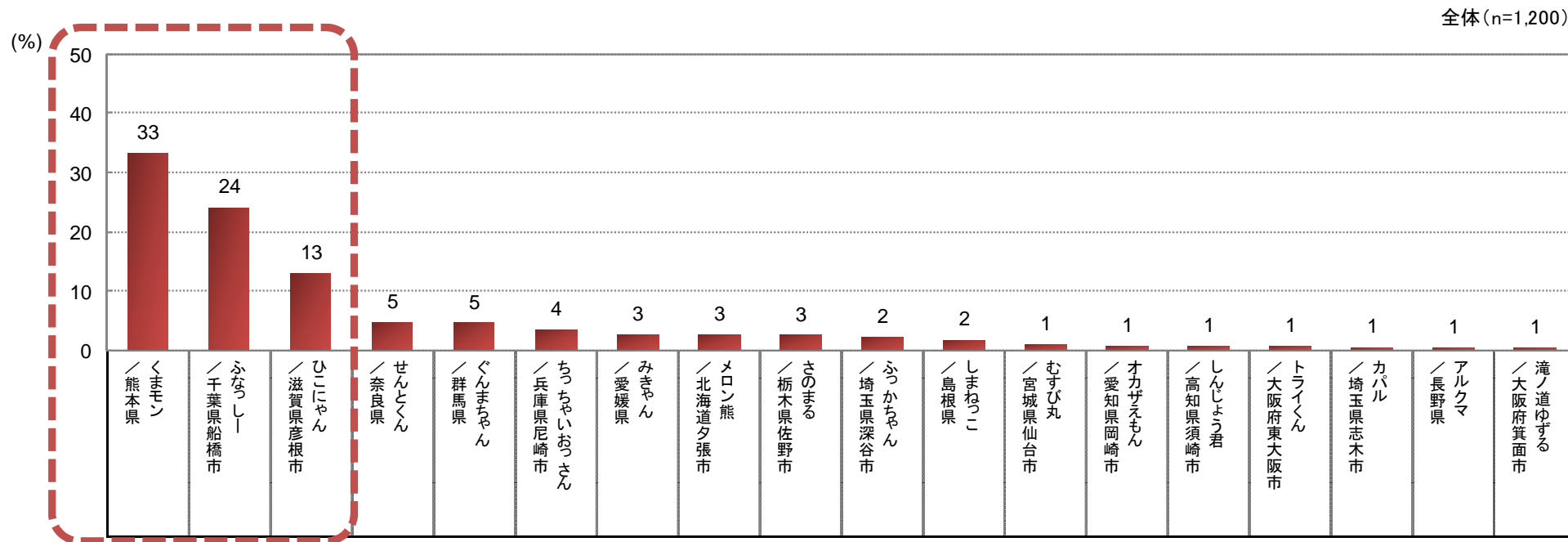
ご当地キャラクター18種の中で好感度をみると、

- 好感度が10%を超えているのは、「くまモン」、「ふなっしー」、「ひこにゃん」の3キャラクターのみ。
- 1位の「くまモン」(33%)は、「ふなっしー」(24%)と9ポイントの差。また、「ふなっしー」と「ひこにゃん」の差は11ポイントあり、上位3キャラクター内でも好感度に違いがある。
- 認知度が70%と高かった「せんとくん」は、好感度では5%と低め。

好感度

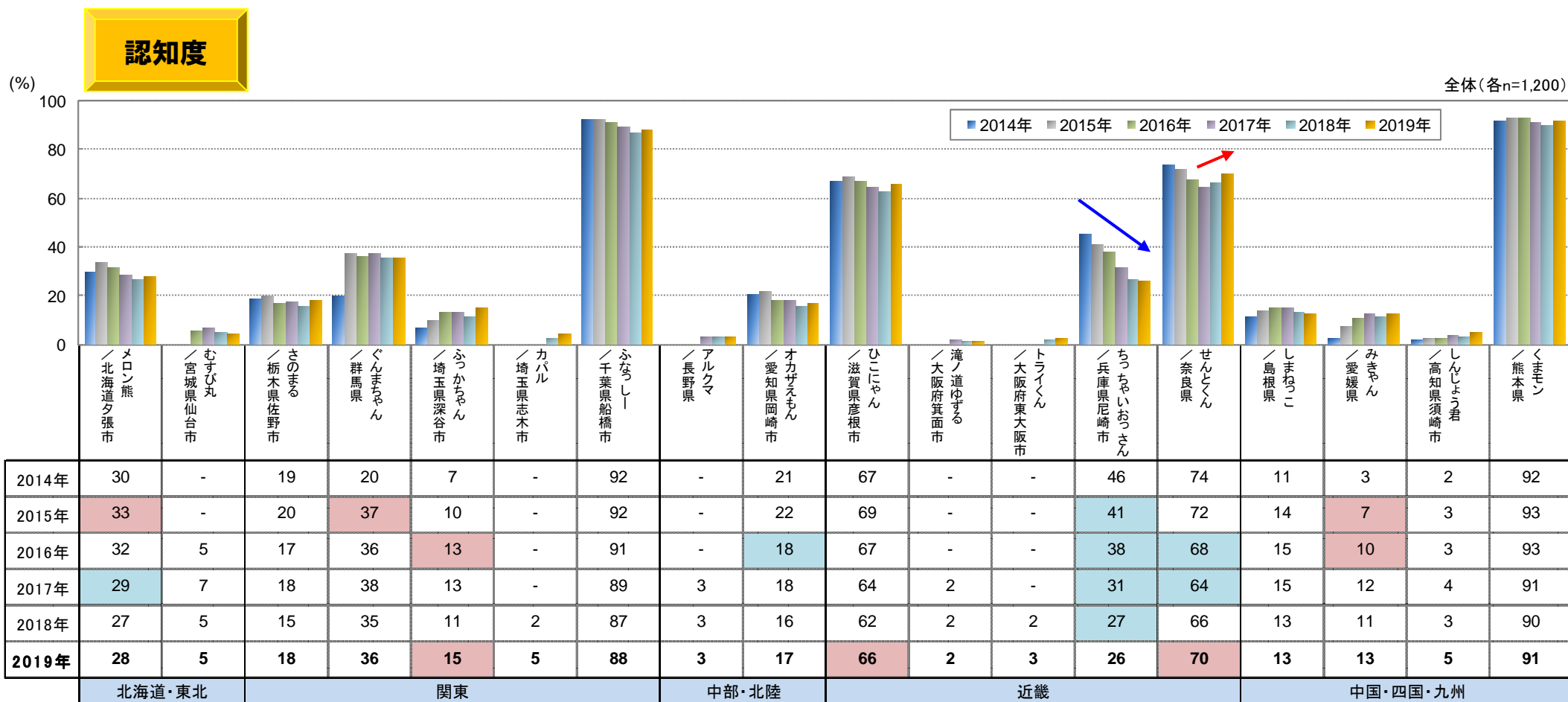
問. そのうち、あなたがお好きな「ご当地キャラ」はどれですか。(〇はいくつでも)

(多いもの順に並べ替え)



時系列で認知度の変化をみると、

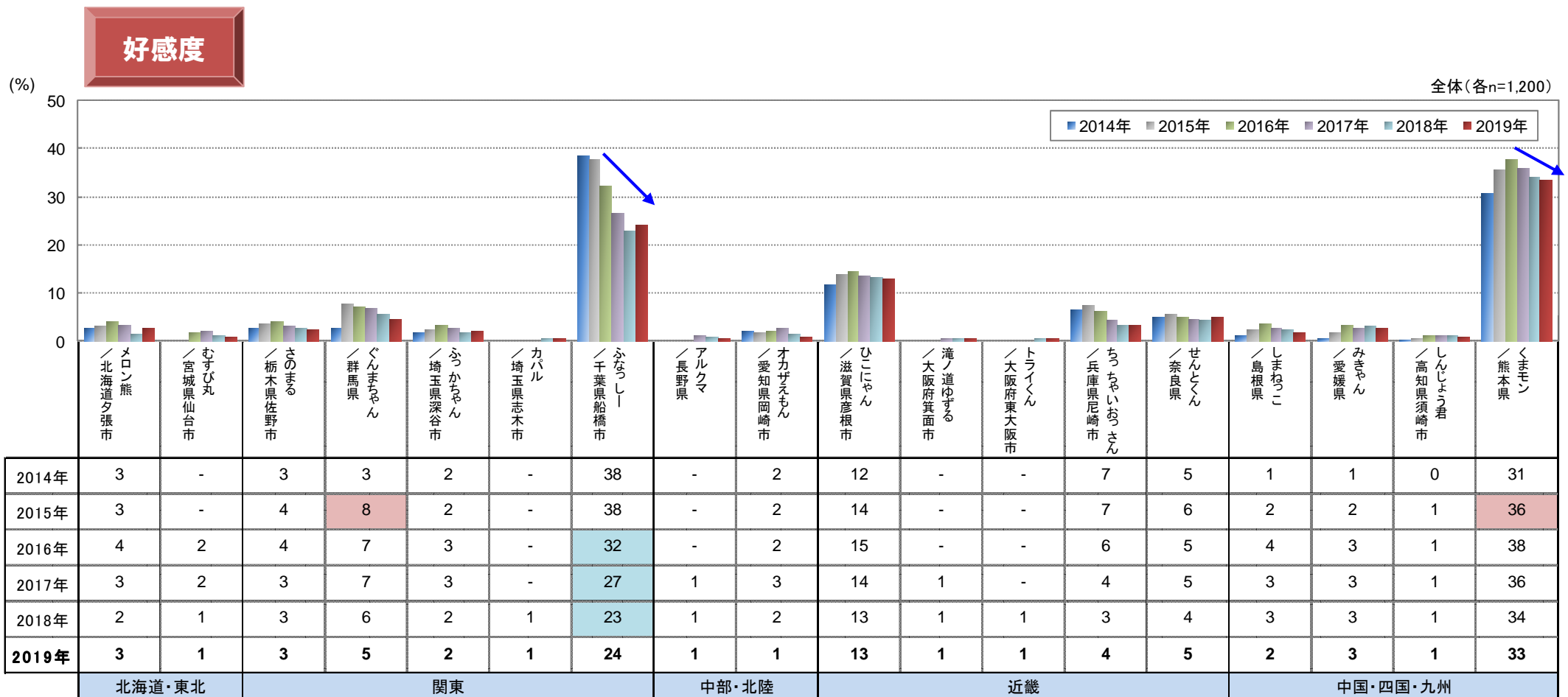
- 「くまモン」は2014年から2019年まで、いずれも9割以上と安定している。
- 「ちっちゃいおっさん」は、2014年 46%→2019年 26%と、この6年間で20ポイント低下した。
- 「せんとくん」は、2014年 74%→2017年 64%と低下していたが、2018年から増加して、2019年は70%になった。



(注) 赤色は前年より3ポイント以上高い、青色は3ポイント以上低い

時系列で好感度の変化をみると、

- 「くまモン」は、2014年31%→2016年38%と増加傾向だったが、2017年から低下し始め2019年は33%。
- 「ふなっしー」は、2014年、2015年は「くまモン」より好感度が高かったが、2016年からは「くまモン」に抜かれて第2位で推移。2014年 38%→2019年 24%と、この6年間で14ポイント減少した。



(注) ■ は前年より3ポイント以上高い、■ は3ポイント以上低い

エリア別に認知度の違いをみると、

■ ご当地キャラの名前の由来通り、地元エリアで認知度が高くなっているキャラクターが多い。

特に、「ひこにゃん」と「せんとくん」は、近畿では80%、76%と非常に高い。また、「メロン熊」は50%、「ぐんまちゃん」は53%と、それぞれのご当地エリアで5割以上と高くなっている。

■ 一方、「くまモン」と「ふなっしー」は別格で、いずれのエリアでも8割以上と、ご当地にとどまらず全国レベルで高い知名度である。

認知度

問. 次の「ご当地キャラ」のうち、あなたがご存知のものはどれですか。知っているものをすべてお知らせください。(〇はいくつでも)

	N	北海道・東北		関東					中部・北陸		近畿					中国・四国・九州			
		メロン熊 北海道夕張市	むすび丸 宮城県仙台市	さのまる 栃木県佐野市	群馬県 ぐんまちゃん	ふつかちゃん 埼玉県深谷市	カバル 埼玉県志木市	ふなっしー 千葉県船橋市	長野県 アルクマ	愛知県岡崎市 オカザエもん	滋賀県彦根市 ひこにゃん	滝ノ道ゆする 大阪府箕面市	トライくん 大阪府東大阪市	ちっちゃいおっさん 兵庫県尼崎市	奈良県 せんとくん	しまねっ子 島根県	みぎやん 愛媛県	しんしょう君 高知県須崎市	くまモン 熊本県
全体	1,200	28	5	18	36	15	5	88	3	17	66	2	3	26	70	13	13	5	91
地域別	北海道・東北	50	18	15	28	8	5	81	2	7	53	0	0	25	64	9	11	6	86
	関東	29	3	30	53	28	8	90	5	14	65	1	1	25	71	10	14	5	91
	中部・北陸	20	3	11	30	7	2	86	3	44	65	0	2	18	69	8	8	2	93
	近畿	22	1	9	21	5	3	90	1	15	80	7	10	42	76	13	10	2	93
	中国・四国・九州	25	5	11	23	8	2	88	2	9	63	0	1	23	66	22	18	10	92

(注) : 全体より5ポイント以上高い、 : 5ポイント以上低い

(%)

男女・年代別に認知度の違いをみると、

- 「くまモン」と「ふなっしー」は、男女ともに幅広い年代層で認知が高く、一番低い層でも7割半ば以上ある。
- 「せんとくん」と「ひこにゃん」は30代から60代女性で、また、「ぐんまちゃん」と「メロン熊」は40代以下の女性で、それぞれ認知が高い傾向がみられる。

認知度

問. 次の「ご当地キャラ」のうち、あなたがご存知のものはどれですか。知っているものをすべてお知らせください。(○はいくつでも)
(多いもの順に並べ替え)

	N	くまモン 熊本県	ふなっしー 千葉県船橋市	せんとくん 奈良県	ひこにゃん 滋賀県彦根市	ぐんまちゃん 群馬県	メロン熊 北海道夕張市	ちっちゃいおっさん 兵庫県尼崎市	さのまる 栃木県佐野市	オカザえもん 愛知県岡崎市	ふっかちゃん 埼玉県深谷市	みきちゃん 愛媛県	しまねっこ 島根県	しんじょう君 高知県須崎市	むすび丸 宮城県仙台市	カハル 埼玉県志木市	アルクマ 長野県	トライくん 大阪府東大阪市	滝ノ道ゆずる 大阪府箕面市	
全体	1,200	91	88	70	66	36	28	26	18	17	15	13	13	5	5	5	3	3	2	
男性	15~29才	112	89	86	69	47	36	37	25	18	21	15	10	11	5	4	4	4	5	3
	30代	95	86	91	74	58	34	33	27	15	21	12	13	17	4	5	4	4	5	2
	40代	111	89	88	63	66	31	23	20	18	19	14	16	13	4	4	5	4	4	1
	50代	93	95	87	75	68	39	24	25	16	16	11	5	9	5	4	2	3	3	1
	60代	106	88	79	58	60	25	19	16	13	7	8	4	6	4	6	4	1	1	1
	70代	75	87	75	55	59	12	12	5	5	9	7	8	8	7	5	0	1	3	0
女性	15~29才	110	93	92	71	67	48	53	39	28	31	24	21	25	9	6	5	2	1	3
	30代	92	96	91	80	77	49	43	37	32	22	23	11	21	5	5	9	3	0	3
	40代	110	96	97	76	71	47	34	43	23	17	24	19	12	5	5	5	6	2	2
	50代	93	98	97	84	77	40	28	40	24	18	18	23	19	10	4	8	4	3	1
	60代	112	96	89	76	76	40	16	21	15	14	14	16	8	2	4	5	2	2	0
	70代	91	82	77	55	60	19	9	12	7	7	3	3	2	1	2	1	1	2	1

(注) : 全体より5ポイント以上高い、 : 5ポイント以上低い

エリア別に好感度の違いをみると、

- 「ひこにゃん」、「ちっちゃいおっさん」、「せんとくん」はご当地エリアの近畿で、同様に、「くまモン」は中国・四国・九州で、好感度がより高くなっている。
- 「ふなっしー」は、関東がご当地になるが、好感度が最も高いのは北海道・東北（32%）である。
- なお、どのエリアでも好感度が20%を超えるのは、「くまもん」と「ふなっしー」の2キャラクターのみ。

好感度

問. そのうち、あなたがお好きな「ご当地キャラ」はどれですか。(〇はいくつでも)

	N	北海道・東北		関東					中部・北陸		近畿				中国・四国・九州				
		メロン熊 北海道夕張市	むすび丸 宮城県仙台市	さのまる 栃木県佐野市	ぐんまちゃん 群馬県	ふっかちゃん 埼玉県深谷市	カバル 埼玉県志木市	ふなっしー 千葉県船橋市	アルクマ 長野県	オカザえもん 愛知県岡崎市	ひこにゃん 滋賀県彦根市	滝ノ道ゆずる 大阪府箕面市	トライくん 大阪府東大阪市	ちっちゃいおっさん 兵庫県尼崎市	せんとくん 奈良県	しまねこ 島根県	みぎやん 愛媛県	しんしょう君 高知県須崎市	くまモン 熊本県
全体	1,200	3	1	3	5	2	1	24	1	1	13	1	1	4	5	2	3	1	33
地域別	北海道・東北	7	5	3	3	0	0	32	0	0	10	0	0	3	3	1	1	1	36
	関東	3	1	5	9	5	1	26	1	1	10	1	1	2	4	1	2	0	32
	中部・北陸	2	0	1	2	1	0	22	0	3	11	0	0	2	3	0	2	1	23
	近畿	1	0	2	1	0	1	22	0	1	28	2	3	9	11	3	2	1	36
	中国・四国・九州	1	0	0	3	1	0	20	0	0	11	0	0	3	4	5	6	2	40

(注) : 全体より5ポイント以上高い、 : 5ポイント以上低い

(%)

男女・年代別に好感度の違いをみると、

- 「くまモン」は、全体では33%の好感度だが、50代以上の女性は4割を超えている。
- 「ふなっしー」は全体では24%だが、50代女性では37%、また、「ひこにゃん」は全体では13%だが、50代女性では22%とアップする。

好感度

問. そのうち、あなたがお好きな「ご当地キャラ」はどれですか。(〇はいくつでも)

(多いもの順に並べ替え)

	N	くまモン 熊本県	ふなっしー 千葉県船橋市	ひこにゃん 滋賀県彦根市	せんごくん 奈良県	ぐんまちゃん 群馬県	ちっちゃいおっさん 兵庫県尼崎市	みきちゃん 愛媛県	メロン熊 北海道夕張市	さのまる 栃木県佐野市	ふつかちゃん 埼玉県深谷市	しまねこ 島根県	むすび丸 宮城県仙台市	オカザえもん 愛知県岡崎市	しんしょう君 高知県須崎市	トライくん 大阪府東大阪市	カバル 埼玉県志木市	アルクマ 長野県	滝ノ道ゆずる 大阪府箕面市
全体	1,200	33	24	13	5	5	4	3	3	3	2	2	1	1	1	1	1	1	1
男性	15~29才	21	16	5	6	2	4	1	3	2	0	0	1	0	0	0	0	0	1
	30代	22	21	8	3	5	3	3	3	3	0	1	2	3	3	2	1	1	1
	40代	24	22	9	3	1	1	2	3	3	4	1	0	0	1	1	1	1	1
	50代	37	30	19	3	6	2	0	2	2	0	1	0	1	1	1	0	0	0
	60代	38	23	10	5	4	2	0	1	3	2	1	1	1	0	0	0	1	0
	70代	39	25	19	11	3	1	4	3	0	1	1	1	0	1	1	0	0	0
女性	15~29才	26	27	15	6	9	13	5	5	5	5	5	2	3	0	1	1	0	0
	30代	32	28	15	7	8	5	3	7	2	5	3	2	0	0	0	1	0	1
	40代	36	24	14	1	7	4	5	3	3	6	4	1	1	2	0	2	2	1
	50代	41	37	22	8	5	3	9	3	5	1	3	2	1	1	2	1	1	1
	60代	45	27	15	4	4	1	2	0	1	1	1	0	0	0	1	0	0	0
	70代	44	12	8	4	2	1	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0

(注) : 全体より5ポイント以上高い、 : 5ポイント以上低い

(%)

調査方法

- NOS（日本リサーチセンター・オムニバス・サーベイ）
- 調査員による個別訪問留置調査

調査対象

- 全国の15～79歳の男女個人 1,200人

※エリア・都市規模と性年代構成は、日本の人口構成比に合致するよう割付

抽出方法

- 毎月200地点を抽出
- 住宅地図データベースから世帯を抽出し個人を割当て

調査期間

- 2019年10月調査（10/3～10/15） ※過去調査は、2014年～2018年のいずれも10月に実施

分析サンプル数

【エリア】

北海道・東北	132
関東	444
中部・北陸	192
近畿	192
中国・四国・九州	240

【男女】

男性	592
女性	608

【男女×年代】

男性15～29才	112
30～39才	95
40～49才	111
50～59才	93
60～69才	106
70～79才	75
女性15～29才	110
30～39才	92
40～49才	110
50～59才	93
60～69才	112
70～79才	91

(人)

NOS（日本リサーチセンター・オムニバス・サーベイ）について

調査パネルを使ってインターネットで簡単に情報収集できる時代になりましたが、NOSでは、50年にわたって、

- ①調査員を使った訪問留置、②パネルモニターではない毎回抽出方式で調査を継続しており、代表性のある信頼の高いデータを提供しております。

NOSは、毎月1回定期的に実施する乗り合い形式（オムニバス）の調査です。

毎回ランダムに決められた200地点にて、対象となる方に調査員が協力を依頼してアンケートを回収します。

性年代構成を日本の人口構成比に合わせているため、全体結果は日本を代表する意見としてそのままご覧になることができます。

インターネット調査では、回収が難しい高齢層やインターネットを使っていない人の実態や意識を分析するのにも有用な手法と言えます。

《 引用・転載時のお願い 》

本レポートの引用・転載の際は、下記連絡先にメールにて掲載のご連絡をお願い致します。

連絡先：日本リサーチセンター広報室 メール：information@nrc.co.jp

掲載では必ず当社クレジットを明記していただき、
調査結果のグラフ・表をご利用の場合も、データ部分に当社クレジットの掲載をお願い致します。